ごん吉くんしポート ～南吉よもやま話～

第27回 鈴木靖将（すずきやすまさ） 命へのまなざし

新美南吉記念館で開催中の「鈴木靖将絵本原画展～命と愛、そして祈り～」にちなみ、日本画家鈴木靖将と彼が描く南吉童話の世界についてご紹介する連載の2回目です。

鈴木靖将が描いた10冊の南吉童話絵本には、人間だけでなく、様々な虫、鳥、獣、そして植物が登場します。南吉作品の特徴として、それら多種多様な生き物が、それぞれに命を輝かせ、互いに交流する物語が多くあります。特に、花をいっぱい咲かせた一本の木のために、チョウやホタルが集まって夜通し祭りをする「木のまつり」は、姿も住む世界も違う者同士が交流する様子を、限りある命の短さを暗示させながら、夢のように美しく描きだしています。

また、この世の美しさとそこに生れ出る新たな命への祝福を「うまやのそばのなたね」に描く一方、「ごんぎつね」や「かげ」では物語の結末に死が待っています。最後に死があるからこそ、生きている今の輝きがあり、どんな命も尊く美しい。南吉が文学で語ろうとしたこの真実を、靖将が命への愛情をこめて表現したのが、この10冊の絵本です。そうした彼の命へのまなざしは、どこから生まれるのでしょう。

ひとつには、靖将が万葉集の世界をライフワークとして描いていることと関係があるかもしれません。日本最古の歌集である万葉集には、実にたくさんの動植物が詠まれています。当時の日本人は、自然と共に暮らし、現代よりもずっと生き物を身近に感じていました。靖将もまたそうした万葉人の感覚で自然を見つめているのです。

靖将が自然に触れ、生き物をスケッチする舞台は、大津の市街地ながら豊かな森に恵まれた自宅の裏山と、同じ市内でも若狭と京都を結ぶ鯖（さば）街道に沿った山間の葛川（かつらがわ）地区に持つ別宅の周辺です。特に葛川は豪雪地帯で、厳しい冬の後に訪れる春の喜びは、「里の春、山の春」に描かれている通りです。狩猟文化が残る葛川では、イノシシやシカを撃っては内臓を猟犬にやり、ノミやダニを殺すために川に浸した後、木にぶら下げて捌（さば）くといった光景が今も見られます。こうした「生」と「死」が同居する葛川の自然と暮らしもまた、靖将の絵本の世界を育んだひとつの環境といえます。

▲自宅の裏山で「木のまつり」の木のモデルにした菩提樹（ぼだいじゅ）を見上げる靖将

半田でダンス?! ダンスフェスティバル DANCE MIX 開催!!

実は半田には、世界の国で踊ったり、国内外のコンテストで優勝したり、はたまた地元の様々なイベントで活躍しているダンスチームやダンサーがたくさんいます。昨年愛知県で開催された国民文化祭をきっかけに、半田で初めてダンスフェスティバルを開催し、総勢200名のダンス出演者で盛り上がりました。今年も多彩なダンスで華やかに踊り、舞います。ぜひお越しください!

■日　　時　11月4日（土）
13時30分開演（13時開場）

■場　　所　雁宿ホール　大ホール

■出演団体　Studio U、TEAM-HIMAWARI、D.D.M COMPANY、Halau Oli Aloha、半田高校ダンス部、その他公募により集まったチームが出演します。

■入 場 料　無料（整理券不要）

■問合わせ　生涯学習課　☎23-7341

VEGETABLE OIL INK
植物油インキ使用 再生紙使用
印刷　東海通信印刷㈱

編集・発行　半田市企画課　〒475-8666 半田市東洋町二丁目1番地　☎0569-21-3111（代表）　FAX0569-25-2180
毎月1・15日発行（5月・8月・12月は月1回）　http://www.city.handa.lg.jp/　Eメール　kouhou@city.handa.lg.jp

情熱、蔵出し。半田市。